

# あざぶ まちづくり研究会だより

水生区回覧板でもこのたよりをご覧ください  
まち研ブログは「水生の研究」で検索してみてください

Vol. 127

'23. 1. 1

## 冬の活動予定

1月1日(日)まちづくり研究会便り 127号発行

1月8日(日)13:30~14:30 川清掃

(雨天、増水の場合は中止します)

飛び入り歓迎 参加賞アリマス

※川清掃は概ね奇数月第2日曜日です

次の川掃除は3月、そのあとはいよいよ幼虫の放流です。放流体験会は次の回覧板でお誘います

随時「折戸川にホタルを飛ばそう会」との情報交換

## 秋の活動報告

10月22日(土)水仙の植え付け(210球)

11月1日(金)まちづくり研究会便り 126号発行

11月13日(日)川清掃は雨天のため中止しました

11月26日(土)ヘイケボタルの蓮田のお手伝い

11月26日(土) } 折戸川にホタルを飛ばそう会

12月24日(土) } 定例会参加(1名)

ゲンジボタル、ヘイケボタル飼育中

## まち研こぼれ話

### 1, 蓮池のお手入れ

ヘイケボタルが水生地内どこでも見られたのはもう30年近く前の話になってしまいました。今でも毎シーズン、ごく狭い範囲でかすかな光が見られますが、知る人ぞ知る希少なものとなっています。まち研ではその光を絶やさないように、数頭を飼育箱にお招きして卵を産ませ、さなぎになる

直前まで飼育し、別の場所に放流しています。ホタルは7月ごろから翌年4月ごろまで、一生のほとんどを幼虫の姿で過ごします。その間だけでも天敵などから守り、十分な餌を与えることで生存数を増やすことができます。ただ、自然界の許容量を考えると元の場所に放流して、その場所の生息数を増やすというのはむづかしそうです。そこで、ヘイケボタルの好きそうな環境を探して行きついたのが蓮田です。ここ数年は蓮田のオーナーさんの好意に甘えて毎年そこに放流させてもらっています。

蓮の根っこはご存じレンコン。秋から冬は収穫シーズンです。そこで、まち研2名が収穫のお手伝いに。大人数で踏み込むとせっかくのレンコンを踏みつぶしてしまう恐れもあり、少人数での作業です。そこで見つけたのは・・・まだ小さいアメリカザリガニ！2020年に特定外来生物に指定された厄介な存在です。ホタルの幼虫にとっても脅威にならなければいいのですが・・・。



### 2, 冬なのにキジバトが営巣！？

ナンテンの木にかけられた巣には卵がふたつ。この寒いのにとのオバサンたちの心配をよそに、ひと月後には巣立っていったようです。真冬の営巣は温暖化の影響というよりは、都市化の象徴と言われているそうです。喜ぶべきか？ 悲しむべきか？

※ あざぶまちづくり研究会 連絡先 ※  
水生公民館ポスト または 加藤志津香 090-8181-0546